

## 産業建設常任委員会審査概要報告書

委員長 酒井 善広

- I 開催年月日 令和 4 年 3 月 22 日 (火)
- II 会議時間 午前 10 時 00 分～午前 10 時 59 分  
《休憩》  
午前 11 時 10 分～午前 11 時 52 分  
《休憩》  
午後零時 00 分～午後零時 12 分
- III 出席委員等 [出席委員] ◎酒井 善広 ○石須 大雄 山上 尊士  
梅島 清香 嶋川 武秀 藪中 一夫  
金森 一郎 大井 正樹 狩野 安郎  
(◎…委員長 ○…副委員長)
- [議長] 坂林 永喜  
[副議長] 本田 利麻  
[説明員] 別紙名簿のとおり  
[委員外議員] 田中 勝文  
[事務局職員] 西本 幸夫 池守 凡子 堀田 寛之  
[傍聴者] 1 名

### IV 審査の概要

- 1 黒木上下水道事業管理者より、上下水道局職員による市民への暴行事件に関する陳謝及び説明があった。

〈 委員から質疑等はなかった。 〉

### 2 付託議案について

- 議案第 1 号 令和 4 年度高岡市一般会計予算のうち本委員会所管分  
議案第 4 号 令和 4 年度高岡市駐車場事業会計予算  
議案第 8 号 令和 4 年度高岡市水道事業会計予算  
議案第 9 号 令和 4 年度高岡市工業用水道事業会計予算  
議案第 10 号 令和 4 年度高岡市下水道事業会計予算  
議案第 24 号 高岡市里山交流センター条例の一部を改正する条例  
議案第 25 号 高岡市都市計画法に基づく開発行為等の許可の基準に関する条例の一部を改正する条例

- 議案第 27 号 高岡市市道の構造の技術的基準等に関する条例の一部を改正する条例  
議案第 28 号 高岡市市道の移動等円滑化のために必要な道路の構造の基準に関する  
条例の一部を改正する条例  
議案第 38 号 指定管理者の指定について（高岡市木楽館）  
議案第 39 号 令和 3 年度高岡市一般会計補正予算（第 12 号）のうち本委員会所管分  
議案第 41 号 令和 3 年度高岡市駐車場事業会計補正予算（第 1 号）  
報告第 1 号 専決処分の報告について  
（令和 3 年度高岡市一般会計補正予算（第 10 号））

及び

- 報告第 2 号 専決処分の報告について  
（令和 3 年度高岡市一般会計補正予算（第 11 号））

以上、当初予算議案 5 件、条例議案 4 件、その他議案 1 件、補正予算議案 2 件及び報告 2 件の計 14 件は全会一致で、いずれも原案のとおり可決・承認すべきものと決した。

〈 審査の過程における質疑等は次のとおり。 〉

（以下、質疑・質問内容は ○ 、答弁内容は △ で表示）

【議案第 1 号のうち、農業振興費について】

- 本市の特産振興作物はどのようなものがあるのか。  
△ ほうれん草や小松菜といった葉物野菜に加え、にんじん、里芋、馬鈴薯、キャベツ、球根や切り花を含めたチューリップ、菅、ハトムギなどである。  
○ 需要があり、安定して売れるものを生産し、収益の安定化があってはじめて特産品と呼べるが、稼げる農産物についての見解は。  
△ ほうれん草や小松菜といった軟弱野菜やにんじん、里芋などを振興していきたいと考えている。まず産地化に取り組むことが必要である。産地化に取り組み、品質を向上させ、競争力をつけることで、稼ぐ農業につながっていくと考えている。  
○ たかおか農福連携推進事業費について、具体的な内容は。  
△ 令和 3 年度に農福連携セミナーを開催したところ、非常に好評であり、また開催してほしいという声が多く、4 年度も引き続き開催することとした。4 年度については、これまでよりも多くの農業者に声をかけて、参加者を増やしていきたいと考えている。また、障がい者の方々が理解しやすいように、障がいの特性などについてのセミナーを開催することも検討している。3 年度の参加者からは、会場で意見交換したが、実際に現場に行き、どのような状況か見てみたいという声も上がっており、お互いに行き来できるバスツアーのようなものを行いたいと考えている。

【議案第 1 号のうち、工業振興費について】

- 創業者支援センター事業について、創業者支援センターの分譲が進んでいるが、今後、ものづくり分野の創業支援にどのように取り組むのか。

- △ 創業者支援センターは、令和2年度末に条例上廃止しており、分譲については順調に進んでいる。創業支援については、融資制度だけでなく、未来につなぐチャレンジ事業補助金の中でも、創業者を支援するメニューを設けている。令和4年度は事業補助金の拡充を予定しており、創業を目指す意欲のある方々を引き続き支援するための制度をしっかりと運用していきたい。
- 空き工場等有効活用促進事業費について、金額があまり大きくないが、事業内容は。
- △ 空き工場、空き倉庫等の物件情報サイトをインターネット上に設けており、サイト運営を委託している。登録されている物件を多くの方々に見ていただき、事業展開につなげてほしいと考えている。
- 高岡地域地場産業センター運営助成金について、センターが御旅屋セリオに移って約1年半が経過するが、来場者数はどのように変化しているのか。
- △ 新型コロナウイルス感染症の影響があり、移転前に比べると入場者数は、およそ半分以下になっている。一方で体験工房の利用人数については、増加しているという実情もあるため、体験ができるという魅力を更に発信していきたい。
- 高岡地域地場産業センターの販売額の推移は。
- △ 入場者数は減少しているが、販売額は、コロナ前と大きく変わらない額で推移している。センターの魅力を発信し続けることで、販売額の向上にもつなげていきたい。
- ものづくり持続的成長推進事業費について、制度をより充実させ、企業の後押しをしてほしいと考えるが、見解は。
- △ 令和4年度予算にも計上している「未来につなぐチャレンジ事業費補助金」の中で、事業者の声を聞きながら、どのような後押しをすれば、市内企業の成長につながるのかをしっかりと見極めていきたいと考えている。中でも、創業や、企業のデジタル化の取り組みについては、しっかりと後押ししていきたい。

**【議案第1号のうち、港湾振興費について】**

- 令和4年度の大型クルーズ船の受け入れ予定は。
- △ 船社からの商品としての発売はまだないが、岸壁の予約状況から、4年度については、伏木港に初寄港の2隻を含む、外国船4隻と日本船1隻を見込んでいる。
- RORO船定期航路開設支援事業費について、現在のロシアの状況がどのような影響を与えると考えているのか。
- △ ロシアへの輸出貨物については、完成自動車が一番影響を受けると考えており、輸出量にも大きく影響してくると見込んでいる。

**【議案第1号のうち、貸付金元利収入について】**

- 中小企業金融対策事業貸付金元利収入について、令和3年度と比べて増減は。
- △ 融資額の予算計上については、実績ベースに合わせて新年度の予算要求をしている。融資実績の減少に伴い、歳出が減少し、それに応じて歳入も元利収入の減額と

いう計上を行っている。

- 融資実績額の減少に伴い、元利収入も減少しているとのことだが、融資実績額が減少している理由は。
- △ 令和2年度以降、国や県による無利子・無担保等の融資制度が運用されてきており、本市の融資制度ではなく、そちらを優先して利用されるケースが多いことが影響していると考えている。

**【議案第1号のうち、道路橋りょう総務費について】**

- まちづくり人材育成事業費について、400万円の予算が計上されているが、事業内容は。
- △ 高岡市熱中寺子屋は、ワクワクしたい人が集う大人の学び場であり、外部組織である高岡熱中寺子屋事務局が事業を運営している。本市のこれからのまちづくり人材を育成することを目的に、メニューは前・後期に分かれており、前期で7回、後期も7回程度、都市部で活躍している著名人や大学教授を招き、月に1、2回、土曜日午後に授業を行っている。また、令和3年度から、都会のノウハウを地方でも活かすため、高岡市内の企業に声掛けし、インターンシップ企画を現在行っている。これにより、就職など、人口交流を図っている。

**【議案第8号について】**

- 富山県との受水協定が改定されると聞いているが、本市の受水費の負担額はどうか。
- △ 受水している本市、氷見市、射水市、小矢部市の4市及び供給側の県企業局とで定期的に受水費の引き下げについて協議してきた。今般、県との協定が概ねまとまり、その結果、本市の受水費は、令和4年度で約2,200万円の減少が見込まれることになった。
- 国吉配水場について、大型事業に着手するとのことだが、具体的にどのような事業を進めるのか。
- △ 国吉配水場については、県の子撫川浄水場からの水を受け入れ、高低差を利用し、市内の西部地域から伏木地区までの広範囲に水道水を供給する本市の重要な水道施設である。近年、県外や県内においても、老朽化した大口径の水道管破損事故により、大規模な断水等が発生していることから、本市においても、事故が発生した場合の影響が大きい場内の基幹管路の更新を着実に行うものである。令和4年度から着手する工事については、建設後40年以上が経過している、本市の配水管及び県企業局の送水管など、管路の全面的な更新、耐震化を進めるものである。既設の高架配管については撤去し、より耐震性の強度を確保するため、場内の管理道路に新たな管を埋設することとしている。また、その他付帯工事として、災害に備えた応急給水施設の新設、配水池周りの侵入防止フェンスの設置、電気室の耐震化工事などの整備も計画している。工期については、令和4年度から7年度までの4か年を見込んでおり、4年度の事業費については、県企業局の受託分も含め約4億円である。4年度から7年度までの4か年の総事業費については、約11億円を見込んで

でいる。

### 3 報告事項について

〈 当局から、次のとおり報告・説明があった。 〉

[都市創造部]

- 令和3年度の道路除雪について

〈 委員から、質疑等はなかった。 〉

[上下水道局]

- 水害ハザードマップの公表について

〈 委員から、質疑等はなかった。 〉

### 4 閉会中の継続審査について

本委員会の所管事項について、閉会中も継続して調査する必要があるため、会議規則第104条の規定により、委員長から議長に継続審査を申し出ることとした。

### 5 その他

次回の常任委員会の開催について

4月20日（水）午後1時に開催することが報告された。

〈 以上で委員会を閉じた。 〉

産業建設常任委員会 当局説明員（27名）

産業振興部長	福田 直之	都市創造部長	赤阪 忠良
産業振興部次長	柳原 隆	都市創造部次長	澤 徹
産業振興部参事（兼務）	竹内 悟	都市創造部次長 参事	竹内 悟
産業企画課長	長井 剛志	都市計画課長	日名田 尚明
商業雇用課長	表野 勝之	景観みどり課長	松本 武司
観光交流課長	高嶋 史恵	道路整備課長	山森 久史
農業水産課長	須田 稔彦	土木維持課長	中出 裕嗣
農地林務課長	川渕 利直	建築政策課長	新田 泰弘
みなと振興課長	氷見 和人	営繕課長	池田 政弘
地域振興交流課長	有栖 友広	福岡駅前土地区画整理推進室長	橘 茂徳
農業委員会事務局長（併任）	柳原 隆	上下水道事業管理者	黒木 克昌
		上下水道局次長	嘉信 和昭
		上下水道局参事	五十里 康夫
		総務課長	亀岡 勝彦
		営業課長	島 信治
		水道工務課長	熊本 敬二
		下水道工務課長	寺井 義則
		施設維持課長	高林 隆